

# OBC

Ogouchi Banban Company

Activity Report  
Vol. 2  
(2017.1 ~ 2018.3)

～東京最西端から最先端のまちおこし～



奥多摩では子どもたちがまちおこしの主役!!  
子供参加型まちおこしエンターテイメント

VERTERE × OBC 『Ogouchi Hop Project』

小河内産ホップでクラフトビールをつくろう!

奥多摩の魅力を新しい形で発信!!

まちおこしモンスターへの道



## Ogouchi Banban Companyとは

東京都最西端、奥多摩町小河内から町全体を、さらには西多摩全体を盛り上げ、奥多摩の名を全国に発信するために活動しているまちおこし団体です!!

## 子供参加型まちおこしエンターテイメント

奥多摩の魅力を歌詞に込めたオリジナルソングを作り、地元の子ども達と一緒に歌って踊る出張OBCライブを繰り広げています。子どもたちは熱狂的パフォーマンスで町を盛り上げ発信する、そしてその鮮烈な体験により奥多摩町のことが大好きな大人になってくれるはずです。

奥多摩ではこの子たちがまちおこしの主役です!



### 最新アルバム『子供が主役のまちおこし』

第4回小河内Banban祭でリリースした最新アルバム。全13曲入り。OBCのイベントや出張ライブに来ていただいた方に無料配布しています。



青梅のCDショップ「マイナー堂」さんでも試聴コーナーを作っています。

## 出張OBCライブ

子どもたちが観客ではなく、実際に舞台に立ってまちおこしに参加することが特徴です。まさに子どもが主役のまちおこし。1年間を通じ、町内外さまざまなイベントに呼んでいただいている。定期公演化しているイベントも増えています。新規出演依頼もどしどしあ寄せください!



平成29年4月15日  
山ふる春まつり

平成29年4月22日  
第19回福祉バザー

平成29年5月21日  
双葉会創立55年記念式典



平成29年6月4日  
奥多摩ふれあいカヌーフェスティバル2017

平成29年7月29日  
成木地区大盆踊り大会

平成29年8月27日  
スマスポ(福生市営競技場)



平成29年10月21日  
多摩学園収穫祭

平成29年11月11日  
山ふる秋まつり

平成29年11月18日  
おくたマルシェ



平成29年11月19日  
青梅マルシェ  
青梅宿アートフェスティバル

平成29年12月7日  
第7回プラザ5フェス

平成30年1月28日  
あきる野音楽市場

## 奥多摩町公式食育ソング『OKUTAMA 食育 ゼンカイ！！』

平成28年7月、奥多摩町食育推進協議会からOBCに作曲の依頼がありました！  
奥多摩中学校の生徒が、保育園児向けの食に関する詩のアイデアを考え、それにOBCが曲と振りをつけるという企画。  
9月に中学生から詩のアイデアが集まり、食育推進協議会でまとめてもらいました。  
そのアイデアを元に島崎が作詞作曲し、録音。平成29年1月、奥多摩町公式食育ソングが完成しました。  
その後、PVの依頼もあり氷川保育園、古里保育園協力のもと制作しました。



楽曲制作の様子



氷川保育園にてPV撮影



古里保育園に島崎が踊りを教えに行きました。

## 奥多摩町クリーンキーパーテーマソング『OPT』



「日本一観光用公衆トイレがきれいなまち」を掲げる奥多摩町には、トイレ清掃のエキスパート集団『オピト』(○ 奥多摩 P ピカピカ T トイレ) がいます。  
オピトのテーマソングの作曲依頼がOBCにありました。  
イカした清掃エキスパート集団をイメージしたので、ノリノリなEDM(エレクトリックダンスマュージック)になってます。子どもたちからも大人気！  
いつもトイレ清掃中に流してくれているそうです。  
平成29年11月18日に奥多摩駅前で行われた「おくたマルシェ」で初披露となりました。



子どもたちと一緒に『OPT』を全力で踊るオピトのみなさん。



最後の『だべだベロック』も再登場し、一緒に踊ってくれました



子ども達の為の振り付け動画を旧小河内小学校音楽室で一緒に撮影しました。



## かん先生 Wedding Reception



平成30年4月、バフォーマー島崎勘の結婚披露宴が八王子にて開催されました。余興を任せられたOBCは、サプライズで奥多摩からOBCキッズと保護者の皆さんに集まってもらうサプライズを演出。新郎新婦も参加しての『だべだベロック』を披露しました。OBCは、この子どもたち(来られなかつたお友達も含め)と保護者の皆さんに支えられて成長しているんだということを改めて実感しました。



子どもたちの登場に会場も盛り上がりりました



VERTERE × OBC 『 Ogouchi Hop Project 』

## 小河内産ホップでクラフトビールをつくろう！

植え付けを終え、みんなでドローン記念撮影

東京最西端のブルワリー（クラフトビール醸造所）VERTERE-バテレ-との協働プロジェクト  
小河内・峰の休耕畑を利用して、OBCがホップ栽培！！  
そのホップを使ってバテレが限定クラフトビールを作る！！というプロジェクトです。  
畠の名前は Ogouchi Hopyard。  
東京最西端の地「小河内」の東京一標高の高い集落「峰」にある Ogouchi Hopyard で育てたホップ。  
それを使用して作る、バテレのプレミアム限定クラフトビール。  
東京で最も希少価値の高いクラフトビールになること間違いない！！

## プロジェクト始動



耕運機で畠を耕すホップ部長アヤト



畠立てる島崎と菅原



ホップの根。これを植えました。



バテレメンバーと一緒に植え付け

平成29年3月上旬からメンバーそれぞれ仕事の合間に縫って Ogouchi Hopyard の開墾、畠立てなどの作業を進めていきました。メンバーのほとんどが農業経験がなく、ホップ部長の酒井アヤトを中心に試行錯誤の繰り返でした。  
3月中旬、海沢にあったバテレのホップ畠から根を掘り出し、小河内・峰にある Ogouchi Hopyard へ運び、植えました。土から芽が出てくるまでは、このまま放って待ちます。

## 発芽



発芽したホップの芽



少し生長したホップ



水やりの様子

この年は4月になってからも雪が降り積もり、心配していましたが、雪も溶けた中旬には遂にホップの芽が出てきました。ホップの生命力はすごい！！

そして、ここから毎朝の水やり作業が始まりました。

水に朝日がキラキラと反射してとても美しいです。

これが、東京最標高集落、小河内・峰の朝の日常風景となりました。

## 棚つくり



単管パイプの打ち込み作業は、とてつもない肉体労働でした・・・



垂直になっているかの確認も大事



誘引ロープをワイヤーにかけているところ



誘引ロープにホップを巻きつける

ホップがどんどん成長しているので、単管パイプを打ち込み、ワイヤーをはります。  
そしてワイヤーに誘引ロープをかけると、ホップの蔓が巻き付いていくのです。

## 成長



5月、Ogouchi Hopyardの貌



Ogouchi Hopyard周辺の生きものたち

アブラムシやダイコンサルハムシの駆除をしたり、どんどん生えてくる雑草取りをしながら、ホップの成長を見守りました。ホップの生長スピードはとても早く、毎日見るたびに伸びていきました。

## 花から実へ



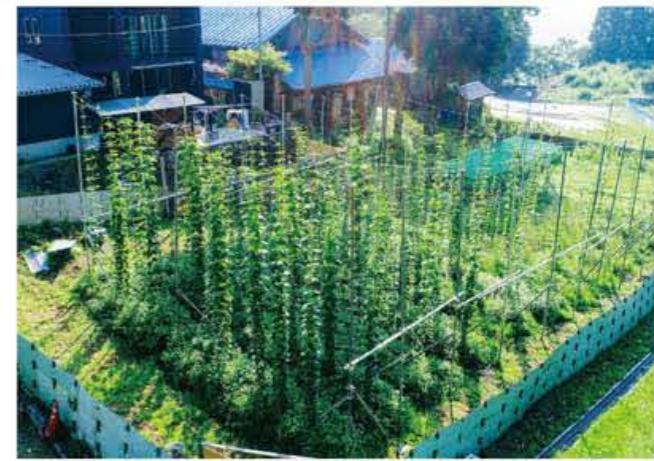
ホップの毛花



穂花



こんなにたくさんの穂花が



蔓は6m以上に伸びました

6月上旬とうとう花が咲きました。

そして6月下旬には花が実になってきました。

蔓も高さ5mに張ったワイヤーを超えて、そこから今度は下向きに誘引ロープに沿って伸びていきました。

## 収穫～ビールへ



バテレ鈴木社長も豊作に笑顔



みんなでホップをもぎます



収穫したホップ



『Okutama Pale』



ビール醸造の様子



完成した『Ogouchi Banban Saison』  
雪の野るOgouchi Hopyardで撮影

9月上旬バテレメンバーも駆けつけ、いよいよ収穫。巻き付いている誘引ロープと一緒に丸ごと刈ります。そして、手で一つずつホップをもいでいくという果てしない作業。あたりにはホップの香りが広がっていました。Ogouchi Hopyardで収穫した小河内産ホップを一部使ったクラフトビール Okutama Pale が、11月からバテレで限定販売されました。

そして、2月には小河内産ホップを 100 パーセント使用したクラフトビールがついに完成！！

『Ogouchi Banban Saison』

華やかな香りが広がるシャンパンを思わせるような口あたりに仕上がりました。

そして、現在この Ogouchi Hop project は season2 が始まっています。

## まちおこしモンスターへの道

2016夏に発表したOBCのアルバム「Monster of Machiokoshi」に収録されている表題曲「まちおこしモンスター」

その中にでてくる歌詞を実現して、まちおこしモンスターに近づこうという企画。

そしてさらに奥多摩の魅力の新しい発信方法として、知られざるフォトジェニックスポットを開拓しています。



『まちおこしモンスター』の歌詞をそのまま再現した、最初の作品4点

## まちおこしモンスターとは

まちおこしモンスターとは、いつもOBCと一緒に、奥多摩町を盛り上してくれる、OBCキッズのことを指しています。

彼らは自分が町を盛り上げているという自覚なんて全くないのです。存在そのものがまちおこしなんですね。

彼らのようなまちおこしモンスターにパフォーマー島崎もなりたいのです！！

しかし、いち大人として、保育士として、OBCキッズの魅力をみんなに届ける側の立場でもいたい。

そんな葛藤を抱えながら、島崎はまちおこしモンスターへの道を日々歩んでいます・・・。



奥多摩湖留浦ドラム缶橋



小河内の坂本にある普門寺



奥多摩むかしみちのしだくら橋



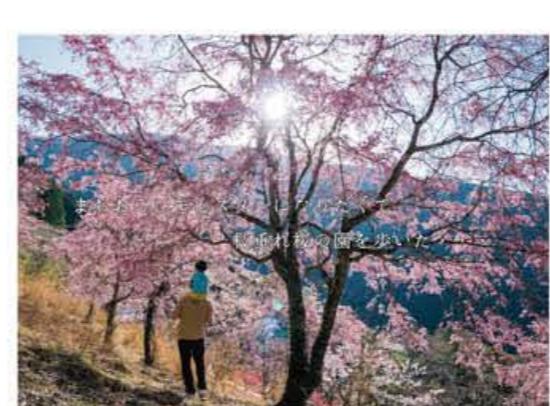
境にある白髭神社



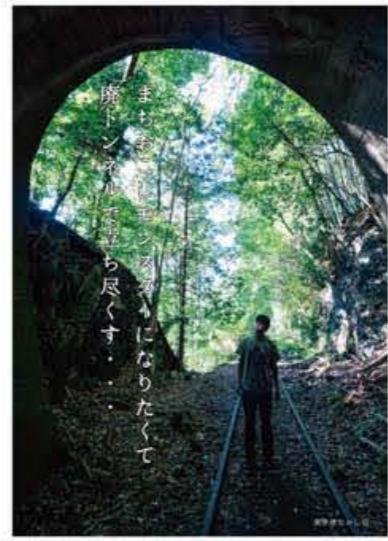
小河内の熱海地区



旧小河内小学校



小河内奥集落のシダレ桜



奥多摩むかしみち庵トンネル



小河内峰のコアジサイ

## TURNS掲載～まちおこしモンスターPV撮影～

日本の“地域”をテーマに、ローカルで暮らす魅力を発信する雑誌『TURNS』。その TURNS Vol.25（平成29年8月20日発売号）は「地方の子育て特集」。なんとOBCのメイン活動（子ども参加型まちおこしエンターテイメント）での取り組みが全国数ある市町村の中のベスト8に選ばれました。そして子育てキーパーソン、スーパー保育士としてOBCのパフォーマーを務める島崎に取材依頼がきました！！取材の日に合わせ子どもたちに集まってもらいPV撮影をしました。



旧小河内小校庭



旧小河内小教室



TURNSに見開きで大きく掲載していただきました！

## 第4回小河内 Banban 祭

OBC主催、旧小河内小学校で開催する  
東京で一番西の新しい夏祭り！

写真：大館洋志

平成29年8月19日、天気予報を考慮し、体育館で開催することにしました。



東京の西のはずれという場所にも関わらず、たくさんの方にお越しいただきました。

今年も、奥多摩町南氷川、羽黒三田神社囃子振興会の皆さんのお囃子で体育館はお祭りムード全開です。



kitchen NON、雄二、ちゃんちき堂、ミス味っこ、アクアヴィータ、ブルーターブ、武藤治作酒店、バテレ、OBCブースと出店も盛りだくさん。



今回の目玉企画、チャイルド社・東京・森と市庭の協力で木育スペースが設置されました。  
木の香りに包まれて、子どもたちも楽しそうに遊んでいました。



やはり最後はOBCスペシャルライブ！たくさんのOBCキッズが集まってくれました！奥多摩町内外大人も子どもも関係なく舞台に立ち、凄まじい熱狂の中、終幕となりました。

第5回小河内 Banban 祭は平成30年8月18日（土）に開催予定です！ぜひお越しください！

## 奥多摩中学校「奥多摩イノベーション」 講師：島崎 勘



中学生が作ったPR動画タイトル



最初の授業の様子



PR動画の発表会での講評の様子

奥多摩中学では、奥多摩イノベーションという取り組みで、1年生から3年間を通じ総合の授業で、町の地域活性化について学んでいます。28年度、ふるさと奥多摩に対する熱い想いを2年生に語ってほしいという依頼で、この奥多摩イノベーションの最初の授業を、OBCが受け持りました。その後1年半かけて準備を進め、集大成を発表する会で島崎が講評をする大役を任せられました！中学生らが、この取り組みの中で特に力を注いでいたのが、奥多摩PR動画プロジェクト。動画は中学生らしい面白い視点で、奥多摩の観光名所などを紹介していました。奥多摩の中学生はすごい！近い将来、町を盛り上げるためにコラボレーション出来る日を楽しみにしています。この動画は近日公開予定です。

## おくたまマイ絵本プロジェクト2018

OBCも全面協力しているこの企画、このプロジェクトは保育園+地元住民の協働です。代表酒井はカメラマン、島崎は保育士として参加し、テーマソング『おくたまっこの絵本』はOBCが手がけています。子ども達は自分で世界に一冊だけの絵本をつくり、それを大人が映像作品にする・・・子どもの魔法×大人の本気 東京最西端の保育園で、最先端の取り組みが繰り広げられています。



古里保育園石田さんが動画を担当



代表酒井は写真担当



テーマソング制作



プロデューサー堀さん指導のもと絵本制作



みんな集中して作業しています



切り抜いて残った画用紙をお面に



完成した絵本



DVDも完成



石田さんのCG技術で夢のある動画になってます！

完成した動画はyoutubeで公開されています。『おくたまご』で検索！！

## メンバー紹介



### 代表 酒井 卓真

1980年生まれ、奥多摩町峰谷出身・在住。標高800mの峰集落で家族と暮らす。奥多摩町食肉処理加工施設「森林恵工房 峰」で鹿の食肉加工をしている。OBCでは、デジタル一眼やドローンを使った写真、動画撮影及び編集、ホームページや印刷物の制作、奥多摩ソングの編曲、録音、演奏、出張ライブ時の音響などを担当。



### パフォーマー 島崎 勘

1982年生まれ、奥多摩町留浦出身・在住。通称「かん先生」。東京最西端の保育園、氷川保育園で働く、奥多摩町初で唯一の男性保育士。「子ども参加型まちおこしエンターテイメント」というニュージャンルを築き上げ、子どもたちと共に、歌って踊って町を盛り上げる!! 奥多摩ソングの作詞作曲、振り付けも担当。その他ナレーター・ライターなどマルチに活躍。「早くぼくもまちおこしモンスターになりたい!!」



### 営業担当 大久保 貴惟

1986年生まれ、奥多摩町原出身  
保険代理店・新規事業設立コンサルティング(株)vessel代表取締役  
自分を育ててくれた小河内への恩返しをするべく活動。  
OBCでは、営業、広報、イベント司会などを担当。



### 広報担当 菅原 和利

1987年生まれ、神奈川県小田原市出身・奥多摩町川野在住。  
法政大学人間環境学部在学時から奥多摩町でまちづくりに取り組み、卒業後は同町へ移住。(株)東京・森と市庭の営業部長として、東京の森と都市をつなげる営業活動を担う。また、夫婦で東京産のヒノキや桜などを使ったカッティングボードの製作・販売を行う『waen』としても活動。OBCでは広報・ポエムなどを担当。  
奥多摩湖と多摩川を愛するアングラー(釣り人)でもある。



### ホップ部長 酒井 綾人

1991年生まれ、東京都青梅市出身・奥多摩町川野在住。  
孫ターンで小河内に移住。Beer Café VERTEREで働く。東京最標高集落・峰でのプロジェクト「小河内産ホップでクラフトビールをつくろう」でホップ部長として大活躍中!胸筋に自信あり!

## OBCの最新情報はこちら

ホームページ

<http://ogouchibanban.jp>

FBページ

<https://www.facebook.com/ogouchibanban/>

youtubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCKrSf3A31qRrzLFEbabXp-w/featured>



HP



FB



youtube

発行

平成30年6月

発行元

Ogouchi Banban Company

編集・デザイン・写真

酒井 卓真

テキスト

島崎 勘